



会からのお知らせ

○ 平成14年7月例会「第22回東村山雑学講座」のご案内

日時：7月13日（土） 15:00～16:45

場所：東村山市民センター別館、第4会議室

演題：『プールの健康的な楽しみ方』

講師：池田 恭子氏

NPO法人 『ちば水中散歩』 理事長

7月、水が恋しい季節ですが、水泳は苦手と言われる人も居るかと思います。そこで水泳は苦手と言う人にも楽しめる『水中散歩』（自由歩行、ストレッチング、水中ダンス、水中ゲーム等）を一人でまたはグループで楽しむ方法およびその効果について、お話頂くこととしました。

○ 定例役員会

日時：7月13日（土） 13:30～14:30 役員会

場所：上記講演会と同一場所

なお、一般会員の方も時間の都合のつく方は気楽にご参加ください。

○ 納涼バーベキュー会の日程が決まりました。

恒例となった納涼バーベキュー会を今年も當間邸の庭で開催することとなりました、
日時は7月27日（土） 16:00～19:00です、詳細は来月のニュースで知らせますが、とりあえずスケジュールを空けておいて下さい。

○ 5月度、大学その他関連会合への出席

5月12日（日） 12:00～17:00 西東京稲門会総会（東伏見キャンパス）
：大西さん出席

○ 新入会員紹介 よろしくおねがいします。

小林 傳（こばやし つたえ）さん S29理工

東村山市多摩湖町3-3-5 Tel：042-391-3823

会員数は現在217名です。

○ オペラ鑑賞会（清瀬稲門会）

6月16日（日） 13:30～16:30 清瀬駅北口生涯学習センター7F

ドニゼッティ歌劇「愛の妙薬」無料（カンパ200円）

問い合わせ 0424-91-0572 大島さんまで

「間違えだらけの景気論議をただす」**講師 山本雄二郎氏**

『ここ10年間、経済予測は当たっていない。経済学者も評論家もテレビでの受けねらってめちゃくちゃな事を言っている。自分は「間違えだらけの景気論議」だと主張している』から36人の参加者を前に下記の内容で講演がスタート。

◎なぜ間違えだらけの論議なのか・・・現状認識の間違い

今のデフレは「ゴールデンリセッション」＝好況の中の不況、誰も困った顔をしておらず、外国人には不思議に思える。失業率も欧州（8～10%）、アメリカ（6%台）より低い（5%台）。マスコミが不況を喧伝している。

景気回復策として国の財政を減茶苦茶にする、財政投資を行ったが効果なし。国にチェック機能が無く、小泉改革も猛然たる抵抗反対を受けている。

◎1990年代の世界大変革グローバル化に日本は遅れをとった。

ソビエト崩壊、ドイツ統一、中国市場経済化、等経済のグローバル化、金融のグローバル化が進行している。

国際間資金移動は1日1兆5千億ドルの為替決済があり、貿易決済は全体の1割位で、デリバリー等の金融が増大している。

銀行が資金を貸す形が減ってバブリーな市場となり日本の体制がついていけなくなっている。

日本経済は80年代にアメリカを追い越したが、アメリカはIT産業に活路を見出し、旧型業種もリストラを断行して大変換をした。イギリスも絶好調。カナダ、ニュージーランドも良い。

日本は40年体制（S15大政翼賛会）が戦後経済もそのまま残っていた。

◎当面の諸問題・・・国の借金増大・赤字国債増発・空洞化とデフレ

・国の規模の1.3倍の借金（赤字国債）＝財政節度の喪失。

・産業空洞化とデフレの問題＝高コスト解消、満腹不況。

◎今後日本の成長に資する飛躍的に伸びる分野

①健康に対する不安・・・介護用サービス・器具

②自由時間に対する対応・・・IT・保育サービス

③豊で居心地の良い場所・・・高齢者向け住宅・低公害車

④人とのつながり

⑤長寿化による自己啓発、能力開発

◎これからの問題点・・・超長寿・人口減少社会

地球規模では欧、日の他はアフリカ中東をはじめ人口大爆発。

日本は50年後には1億人を切り、100年後には6736万人に減少。

人口減分だけ分け前が増して、日本は大丈夫という説もある。

写真はミスで撮れませんでした。

（井垣 記）

同好会だより

ゴルフ同好会

世話人 井垣 和 太 TEL 396-3100

〇もう夏休みゴルフ8月2日（金）のお誘い

大雨の会長杯ゴルフも無事に終わって、そろそろゴルファーにとっては憂鬱な梅雨の季節になってきました。そこで一足飛びに夏休みゴルフのご案内です。毎年恒例になりました、標高470メートルで東京より気温4度は低い御殿場の富士カントリークラブでのプレーです。

乗用カートでのプレーで疲れも心配無用。涼風に吹かれながら夏富士をお供に楽しい一日を過ごしませんか？

夏休みのスケジュールに是非組み込んでおいて下さい。

記

開催日 8月2日（金）
 開催場所 富士カントリークラブ
 静岡県御殿場市東山2472
 0550-82-1616
 プレー費 13,000円（飲食費・税別）
 （次号で詳細ご案内します）

（井垣 記）

麻雀同好会

世話人 小野 智 TEL 391-9523
 田口 政澄 395-4077

麻雀同好会のご案内



本年第二回麻雀大会を下記にご案内いたします。表彰式後は懇親会でまた一杯やりながら楽しいひとときを過ごしましょう。

今回も是非最低四卓で賑やかにおこないたいと思います。会員各位の積極的な参加をお願いいたします。

また初参加の方お待ちしております、大歓迎です。

なお今回は大会とはべつにご婦人方の一卓がおこなわれます。

記

日時：6月16日（日）12時30分
 場所： マージャンM

本町4-12 アメニテイパレス B1

TEL: 397-5228

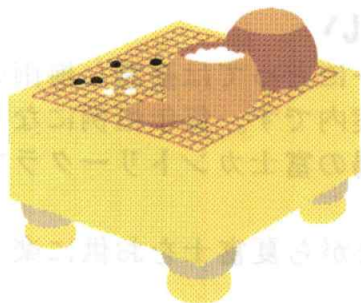
会費：6千円（競技代、賞品代、懇親会費用すべて含）
 締め切り：6月6日（木）

囲碁同好会

世話人 野村保夫
井上徹

TEL 394-0417
394-8884

6月度 定例会（東久留米稲門会囲碁同好会との親善合同練習会）のご案内



下記日時、会場にて、定例練習会を行います。
今回は東久留米囲碁同好会との親善合同練習会です。
形態は日頃の練習会と同じです。ぜひお気軽にご参加
ください。

8月の第5回大会（予定）に向けて、腕を磨く絶好の
機会！多くのご参加をお待ちしています。

日時：6月22日（土） 13時～17時
会場：東村山市民センター

郷土史の会



世話人 三宅良太 TEL 394-5298

今年第2回の郷土史の会を下記の通り開催致します。

日時：平成14年6月23日13時30分～16時30分

場所：中央公民館第3集会室

会費：300円

講師：稲葉和也先生（S38年早稲田大学建築学科卒、同大
学院博士課程建築史学専攻、現在：東海大学大学院文
学部講師、東京都・東村山市他文化財保護審議会委員）

テーマ：私の辿った建築史ー日本・中国・エジプトー

色々と幅広く興味深いお話をして頂けますので多数ご参加下
さい。ご同伴歓迎!!

テニス同好会

世話人 当間昭治 TEL 391-6023



5月の例会は久しぶりに参加の鈴木（義）夫人を含め6名。

午後5時からの2時間運動公園のコート狭しと走り回りました。

6月は梅雨のシーズンですが、晴れ間を期待して下記に計画しま
した。（麻雀大会当日の午前中です）

記

日時 6月16日（日）午前8時～10時

場所 市営久米川コート 5番コート
久米川町2-21

小野梓生誕150周年

本年は早稲田大学「建学の母」と呼ばれる小野梓先生の生誕150周年にあたります。大学ではこれを記念して3月11日～4月25日まで会津八一記念博物館で小野梓展が開催されました。この記念展の入り口に奥島総長の小野先生に対する思いを込めたメッセージがありましたので、会員の皆様に是非お読み頂きたく筆記してきました。また、奥島総長は4月1日に行われた入学式で小野先生の業績にふれ、今、大学は創立125周年に当たる2007年までに、小野先生の夢や理想の一部なりとも実現する決意で改革に取り組んでいるが本学が「梓立大学」となりうるかどうかは新入生諸君の双肩になかかっている、しっかり勉強して欲しいと述べられました。(奥島総長の卒業式・入学式の式辞を希望の方は小亀までお申し出下さい)

(小亀輝雄)

梓立大学としての心意気をもとう

早稲田大学総長 奥島孝康

早稲田大学は「私立大学」であり、かつ「志立大学」である。そして、なによりも「梓立大学」なのである。大隈さんなくして早稲田大学はないが、小野梓先生なくしてもやはり早稲田大学はありえない。

早稲田大学の設立は、大隈さんが小野先生に託し、小野先生が「責任以て事に当たる」(責任当事)ことによって実現した「梓立大学」であるといわねばならない。

「人生只意気」とばかり、「大隈の三太夫」と呼ばれるほど大隈さんと同心同体であった小野先生は、1882年10月21日の東京専門学校(早稲田大学の前身)の開校式において、本学の建学の理念と呼ばれる「学の独立」について熱弁をふるわれたが、その式辞の冒頭において、先生は「余は従来一箇の冀望を抱けり。その冀望とは他なし、余が生前に在って吾が微力を尽くして成立せし一箇の大学校を建て、之を後世に遺し、秘かに後人を利するあらんを欲する、是なり」と。また「夫れ一滴の雨水も聚まれば大洋を成し、一粒の土砂も合すれば地球を成す。余が力微々なりと雖も熱心して之を久しきに用ふれば、又或いは積て世に利益する所あらむ」と。小野先生のこの心意気こそ早稲田大学に真の生命を吹き込んだというべきである。

病魔にとりつかれ、わずか34歳の若さで世を去った小野先生は、東京専門学校が早稲田大学と校名改称する日(1902年9月)までどころか、開校後わずか3年余りしか学校運営にかかわることはできなかった。亡くなる直前、畢生の大作「国憲汎論」は完成したとはいえ、先生にとってこの学校の前途はどんなに心配であったことか。先生にとってこのことがなによりも心残りであったことだけは確かであろう。

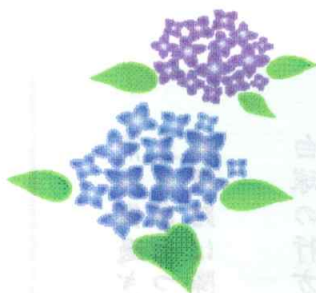
しかし小野先生生誕150年(没後116年)を迎え早稲田大学はようやく建学の志(三大教旨)という建学の原点に立ち戻って、創立125周年を迎える2007年までには、大隈さんや小野梓先生の本学に託した夢や理想の一部なりとも実現する決意で改革に取り組んでいる。いいかえれば、小野先生生誕150年を迎え、初めて本学は梓立大学^{「しりつだいがく」}であるとの自覚に立った大学の運営を行うようになったわけである。地下の小野先生も必ずや満足されていることであろう。

小野梓先生年表

- 1852 (嘉永5年) 2月20日小野節吉・助野の次男として土佐国幡多郡宿毛村(現在の高知県宿毛市)に生まれる
- 1860 (万延元年) 宿毛の儒者酒井南嶺の門に入る
- 1868 (慶応4年・明治元年) 7月 戊辰戦争に志願して出兵、機勢隊に加わり、北陸を転戦
- 1868 (明治元年) 新政府成立
- 1869 (明治2年) 岩村通俊に伴われ上京、昌平校に入る
- 1870 (明治3年) 大蔵省会計監査官の小野義真を訪ねて同家にて英語を学ぶ。7月頃上海に渡り中国内地を旅行
- 1871 (明治4年) 2月頃、横浜から出帆して渡米し、ブルックリンに到着 ジョンソン博士に師事して法律を学ぶ
- 1873 (明治6年) 大蔵省官費留学生となりロンドンへ移る
ロンドンで馬場辰猪らと日本学生会を組織する(共存同衆の源流)
ヨーロッパ大陸を旅行
- 1874 (明治7年) 3月 大蔵省の帰国命令により帰国の途につく
9月20日同士6人とともに共存同衆を組織
- 1875 (明治8年) 2月「共存雑誌」創刊
- 1876 (明治9年) 司法省に出仕 司法少丞に任ぜられる
- 1877 (明治10年) 西南戦争
司法省書記官に任じ、太政官書記官を兼任して法制整備に当たる
- 1880 (明治13年) 会計検査院の検査官に任ぜられる
- 1881 (明治14年) 2月 高田早苗・天野為之・市島謙吉らと「欧渡会」を設立
7月 開拓使官有物払下げ事件
10月 大隈重信の参議免官と共に下野(明治14年の政変)
- 1882 (明治15) 4月 大隈を党首として立憲改進黨を結成
9月 大隈重信、高田早苗らとともに東京専門学校(現在の早稲田大学)
- 1883 (明治16) 1月 「国憲汎論」上巻刊行
8月 東洋館書店を開業
- 1884 (明治17) 5月 「条約改正論」脱稿
12月 「民法の骨」上巻 東洋館書店より刊行
- 1885 (明治18) 9月 「国憲汎論」下巻上梓
咯血を繰り返し病勢進む
- 1886 (明治19) 1月 肺結核のため自宅で没する(33歳10ヶ月)
谷中の墓地に葬られる

園芸の会

世話人 三宅良太 TEL 394-5298



平成14年第3回の園芸の会を5月18日(土)午後市民スポーツセンタークラブ室で催しました。今回はまず当間昭治氏(43法)と夫人より野菜作りについて日頃のご苦心を含めて楽しくお話し頂きました。主にトマト、ナス、キュウリの育て方を詳しく、300坪余の畑に季節毎にじゃがいも、西瓜、かぼちゃ、ピーマン、ししとう、ほうれん草、小松菜、大根、ネギ等沢山作っておられるそうです。大変参考になりました。

次に各自作った春蒔き草花の苗の交換会を行いました。藤澤博恭氏(29政経)よりいつものように沢山の立派な苗をご持参頂きお分け下さいました(サルビア、日日草、金魚草、ペチュニア、クリーピア等の各種)。その他参加者が持参のケイトウ、キンセンカ、カーネーション、風露、スイトピー、コスモス、ふうせんかずら、ミニひまわり、マリーゴールド、あさがお、百日草等を希望者に配られました。なお、當摩彰子さん(48教育)より手作りのマドレーヌを頂き一同賞味させて頂きました。有難うございました。

参加者：大西、子亀夫人、塩見、高杉、当間夫妻、當摩、長井夫妻、藤澤、町田、八木、山下夫人、三宅夫妻、の各氏15名。

次回(第4回)は下記のとおり催します。

日時：平成14年8月11日(日)15時～17時

場所：東村山市民スポーツセンター2階スポーツクラブ室

当日は2月に植え付けた「さぎ草」の展示会を行います。見事咲かせた方、失敗作もご持参願ひ皆で苦心談を話し合い、投票により出来ばえの良い上位3名の方々に賞品(?)を差し上げます。次に當摩照夫(45理工)彰子夫妻から「夫婦合作のバラ作り」についてお話し頂きます。長年自宅のお庭で薔薇を沢山作っておられます。乞うご期待!!大勢のご出席をお待ち致します。それから藤澤様がまとめてご購入ご用意頂きました秋まき草花の種を分けて頂き(実費1000円程度ご用意下さい)そして各自分担して苗を育てそれを秋に交換する予定であります。

ウォーキングの会

世話人 町田和夫 TEL 394-2438



市内コミュニティバスのコースを歩いてきました。

5月19日(日)、晴天に恵まれ、ウォーキングと街探検を楽しんできました。

東村山駅東口を10時に出発し、市の北西部コース[9.8km、40分、久米川町・諏訪町・野口町・多摩湖町・廻田町・美住町・本町]を歩き、北山公園(菖蒲はこれから)で休憩を取り、狭山公園でお弁当を取る。[當摩彰子(48教育)さんが冷たいジュースを差し入れてもらうが、公園広すぎて会えず]

13時50分東村山駅東口に戻り、東村山駅東口～新秋津駅コース[6.8km、20分、久米川町・恩多町・青葉町・秋津町]を歩く。15時30分新秋津駅到着・解散。

25,000歩=17km。

市内コミュニティバスのコースは、他に3コースあります。

今回は、市の南西部コース[13.5km、54分、東村山駅東口・本町・美住町・富士見町・栄町・萩山町・久米川駅南口・東村山駅東口]を予定していますので、是非ご参加よろしく願ひいたします。

【参加者】井垣、小野、風間、柴田、当間、額田、町田夫妻、同母、松永、三宅夫妻、八木(勝)夫妻 14名

俳壇

投句歓迎（どなたでも結構です）

三句以内 用紙自由

七月分締め切り六月二十七日（木）

担当 井垣宛

春愁や愚妻と相撲見ておりぬ
老鶯まだ鳴く丘や春惜しむ
鏡割れて鳥の目を射る真昼かな

柴田 元

城跡に土塁の名残り花は葉に
水やさし箱根卯つ木の花咲けば
清明ののどを鳴らして水を飲む

菊田 一平

山肌の落葉松萌る露天風呂
風薫る海沿いの道いずこまで
船宿の鯉の旨さ去年のまま

塩見 之一

清遊の旅に霞める千曲川
善光寺裏参道につつじ燃ゆ
志賀の山雪を残して桜かな

八木 勝利

白球の行方危うし山笑う
草の名をあれこれ問うやカート道
富士よりも高きに止まる黒揚羽

井垣 稻雀

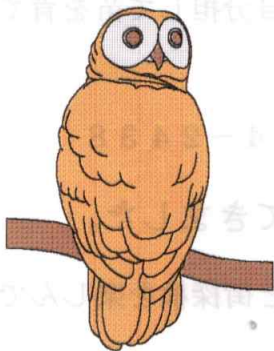
荒神興過ぎて大路のがらんどう
五月富士つひに見えざる旅果つる
箱根路は降りみ降らずみ若葉冷

高杉 風至

多摩湖ふくろう通信 No 3

2002. 3. 24

戸田 志郎



多摩湖の桜は満開である。例年より10日ほど早い。狭山公園の山道には山桜が数本あり、涼しげに花を咲かせている。ときおり鳥がえさを探して飛び回っている姿が見られる。このあたりはこれからが最高の季節となる。

さて、二酸化炭素など、温暖化ガスの削減を工業国に義務付けた京都議定書の批准案件が今国会に提出される予定となっており、政府が「地球温暖化対策推進大綱」をまとめた。

京都議定書が日本に義務付けた削減目標は90年比で6%であるが、99年には6.9%も温暖化ガスが増えている。

ところが、新大綱が国内対策で削減するのはわずか0.5%で、目標のほとんどを占める5.5%を、削減目標を緩和するために議定書のルールに盛り込まれた森林吸収や排出権取引などに頼る計画になっている。

環境問題を考えるときに思い出される本がレイチェル・カーソンの『沈黙の春』である。私たちに初めて環境問題に目を開かせてくれた本である。

化学物質による環境汚染という主題で、『沈黙の春』に登場する農薬の多くは、現在では、製造も販売も使用も禁止されている。『沈黙の春』は「アメリカの奥深く分け入ったところに、ある町があった」という書き出しの「明日のための寓話」からはじまる。

「自然は、沈黙した。薄気味悪い。鳥たちは、どこへ行ってしまったのか。みんな不思議に思い、不吉な予感におびえた」「春が来たが、沈黙の春だった。いつもだったら、コマドリ、スグロマネシツグミ、ハト、カケス、ミソサザイの鳴き声で春の夜は明ける。そのほかいろんな鳥の泣き声がひびきわたる。だが、今は物音一つしない。野原、森、沼地——みな黙りこくっている」「でも、敵におそわれたわけでもない。すべては、人間がみずからまねいた禍だったのだ。」

ここに描かれた「病める世界」の叙述はわれわれの心をとらえてはなさない。自然を破壊する人間の愚かしさ、地球と人類の未来への不安など、われわれが現在直面している地球環境の危機と重ね合わせるとき、この警告の重みはいっそう増す。

もうひとつはグンター・パウリの『アップサイジングの時代が来る』（ゼロエミッションと雇用の創出）〔2000年、朝日新聞社〕という本である。

アップサイジングとは、従来、関連を持たなかった様々な産業活動をクラスター化することで、ある産業にとって価値のない副産物が別の産業にとっては付加価値のあるインプットに転換される。それによって資本、労働力、原材料全体にわたる変換の生産性が増大し、結果として雇用の創出や人と環境への悪影響の排除が実現されるということであり、ゼロエミッションとは企業活動によって生み出される廃棄物・排出物を、付加価値を創出して再利用し、最終的にゼロにすることである。

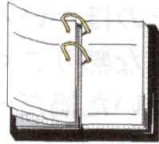
著者がヨーロッパ初のエコロジカルな工場の設立責任者となったとき、熱帯植物の油から抽出された環境にやさしい洗剤を普及させることであると信じたのである。ところが、ある日、越えがたい壁にぶつかった。会社が使用している抽出物は、その油の産出元であるヤシやココナツのプランテーションで発生する全生産量の5%に満たなかったのである。ヨーロッパの河川の洗剤による汚染の減少には、微力ながら貢献したかもしれない。だが、大量の廃棄物の原因となっていることも事実として受け入れざるを得なかった。廃棄物の大半はそのまま焼却されていた。

農林業生産高のうち、有効利用されているのは5%に満たず、平均して約95%は処分されている。この95%を利用する経済システムを採用すれば、資源の増加を期待するまでもなく、満たせる原材料の需要は20倍に増える。巨大な雇用創出機関をつくり、各産業の生産性を高め、莫大な廃棄物の流れを断つことにもなる。こうして、われわれは、ゼロエミッションの世界に大きく近づくと、真の循環型社会への道標を示す。

著者は「環境意識の高い消費者の運動やリサイクル運動はあるにせよ、どれだけ無駄なことをしているか人類はいまだに自覚していないという事実にある。その点に気づいて、地球が産出する資源をもっと有効に活用できるようになれば、まもなく革命は訪れるだろう。先行きを悲観したり、危機が迫っていると警鐘を鳴らしたりする理由はない。——現行システムは根本的に改善できるはずなのだから。今日の社会は、あるべき世界と来るべき未来の前段階に過ぎない。人類は、オゾン層を破壊したり、生態系を枯渇させたり、気象に影響をあたえることなく、健全な経済成長を進めることができる。ただし、それは私たちの現状認識が変わるかどうにかかっている。」と述べている。

私も含めて日本人は「税金を納めれば公共責任を果たした。」と思っている人が大変多い。大人の条件としてカセギ（経済的自立）とツトメ（共同体維持のための公的貢献）が必要だと言われている。

環境問題を取り上げたが、レイチェル・カーソン氏とグンター・パウリ氏の深い啓示に学び、ここに日本経済全体を動かさしめる発想があるのではないかな。



今月の予定

- 1 日 (土) 役員会
 9 日 (日) 俳句稲酔会
 16 日 (日) 麻雀同好会
 テニス同好会
 22 日 (土) 囲碁の会
 23 日 (日) 郷土史の会

編集局だより

編集局：井垣、伊藤、塩見、田口

東村山稲門会：<http://www.din.or.jp/~tigers/>東村山稲門会ニュース：<http://members.jcom.home.ne.jp/toumonkai>

○今月も10頁建てです。これでやっと皆様からお預かりしていた大切な原稿を総て掲載する事が出来ました。戸田さんの原稿は3月に頂いたものです。遅くなってごめんなさい。

○「下宅部遺跡公園を育てる会」が発足し今年からいよいよ本格的な公園作りが始まります。今足りないのが植物や造園に詳しい人。勿論、プロを求めているわけではありません。是非市民の手で公園を育ててみませんか市報に詳しいご案内が出ます。

○次号の原稿の締切は6月29日(土)とさせていただきます。(伊藤)

○第21回雑学講座の報告は、まとめるのに苦労しました。出席された方はおわかりになると思いますが・・・。

○早大野球部が春のリーグ戦を制しそうです。早慶第1戦の土曜日に役員会とは因果なものですね。神宮のスタンドでやっても良かったのに。東村山での祝杯で我慢するしかないか。(井垣)

会員情報をお寄せ下さい

皆様の身近な情報をお寄せ下さい。還暦・喜寿・古希・傘寿・米寿・白寿・受験合格から神頼みの一言まで(そう言えば神主さんも居ます)写真もOK。

E-mail：toumonkai@jcom.home.ne.jp まで添付ファイルはMS-WORD、一太郎のみ。

勿論テキストファイルはすべてOKです。

FAX：042-398-1352

郵送：東村山市富士見町1-12-2 ヴィラージュ・ヴェール1-209 伊藤宛

俳句同好会(稲酔会)

世話人 高杉 修 391-8447
 柴田 元 396-8257

第三回句会ご案内

6月9日(日) 14:00~16:30

於 久米川駅南口 「丸藤」2階

兼題「涼し」 兼題含め5句 14:20締め切り

句会終了後同所にて懇親会を予定(3,000円)

気軽にご参加下さい。お問い合わせは世話人まで。